

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年2月29日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	5週	6週	7週	8週	警報レベル		注意レベル
	1月29日～2月4日	2月5日～2月11日	2月12日～2月18日	2月19日～2月25日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	13	20	14	11	30	10	10
	4.33	6.67	4.67	3.67			
新型コロナウイルス感染症#	85	53	82	43	-	-	-
	28.33	17.67	27.33	14.33			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	1	1	3	2	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	15	9	9	8	4	-
感染性胃腸炎	17	17	17	20	20	12	-
水痘	1	0	2	0	2	1	1
手足口病	0	0	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	1	0	1	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	◎	○
備考	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	Ⅰ	2/28～3/5	304人
前週	Ⅰ	2/21～2/27	324人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【全数報告疾病】

4類: E型肝炎

男性1名 ※全数報告疾病…すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザは前週より減少しました。
- ・新型コロナウイルス感染症は前週より減少しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌)は前週と同数の発生で、警報レベル継続中です。
- ・感染性胃腸炎は前週より増加しました。

【集団発生情報】

保育施設及び高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【感染症コラム～E型肝炎～】

- ・ウイルス性の急性肝炎で、病原体はE型肝炎ウイルスです。
- ・ウイルスに汚染された食べ物を経口摂取することで感染し、妊婦が感染すると劇症肝炎となる割合が高くなります。
- ・感染した人が便中に排出するウイルスが感染源となります。
- ・ブタ、シカ、イノシシ、ウシなどの多くの動物がE型肝炎ウイルスに感染するため、イノシシの生レバー摂取が原因とみられる死亡例や豚レバー、シカの生肉など動物由来の報告もあります。
- ・潜伏期間が平均6週間と長く、悪心、食欲不振、腹痛等の消化器症状を伴う急性肝炎を呈します。
- ・治療は対症療法のみです。
- ・流水・石けん手洗い、野生動物の肉は中心部までよく加熱処理をする等が重要です。
- ・A型肝炎同様汚染地域への旅行では、飲料水、食物に注意が必要です。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 ☎0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>